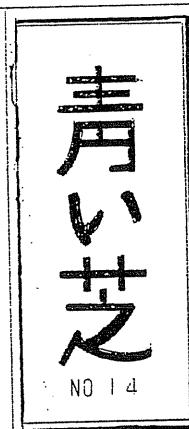


行さたいと思ひます。役員も新年  
の成績の上に立つて更に一層  
着外的にも対内的にも発展させ  
たいと思ひます。

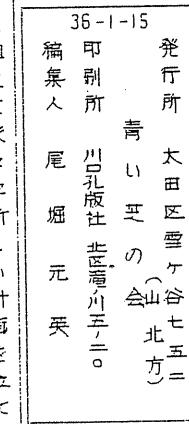
役員も新年

昭和三十五年十二月二十八日

謹賀新年  
会員の皆さんには良いお正月を  
お送られることと思います。また  
会員の皆さんから会へ沢山の  
年賀状をいただきありがとうございます。



毎月十三日発行



社会福祉法人東京都共同募金会  
会長 足立 玉  
は  
賀 正 や  
会員の皆様おめでとう  
昨年中は色々お世話になりました  
本年もよろしく  
開業三周年  
早川洋服院  
早川共進社  
わ

本年度実施の才十回NHK歳末た  
じの用賀もありました。会員諸  
氏のいつも受けの協力や、頑固相  
談役の先生方その他出席者各位の  
たゆみない御援助により、お陰様  
でかなり成長をいたし、社会的に  
も相当に知られ認められるようにな  
つて来ました。今年は昨年のそ  
の成績の上に立つて更に一層  
着外的にも対内的にも発展させ  
たいと思ひます。

記  
一金五万円也

一昨年に引き続き昨年もNHK歳  
末たすけあい運動による義援金を  
前記のようにいただきました。  
厚く御礼申上げます。

# 各 部 だ よ り

レクリエーション部

四 篓 和 良

次のような計画を立てました。

一将棋、碁のリーグ戦

毎週木曜日 世田谷壁にて

春大会 一月十五日(木)～三月十二日

夏大会 五月九日(木)～七月三十日

秋大会 九月十日(木)～十月三日

参加費 一年分 百 円

会員 A 二〇〇円 B 二五〇円

会員 A 二〇〇円 B 二五〇円

会員 A 一〇〇円 B 一五〇円

は紙面の都合で出来ませんが、遅  
延にのせていただきたいと考えています。  
前記の他、我々は関係のある  
会外の動きなどについても遅時の  
せらつもりであります。広報部に  
対する御意見 御希望をどしき  
出して下さるよう きた記事の提  
供などの御協力をもちあ頼い申上ます。

左記の方々から御寄附を頂きました。  
厚く御礼申上げます。

総務部 金 天 湘 河  
昨年十二月 仏教婦人クラブ会長の李方子様より  
萩原が御恩りを用かれたといふ十  
二月八日成道会の日に当つて、ウ  
ルシニツチイソング作者入山白翁氏  
並びに三思行秀庵主氏の念願をこ  
められたとこの仏さまの絵を御  
寄贈いたしました。貢車なるところ  
のものを有難く存じます。又、右  
と共に壁にヒレコードと絵本もお  
置き、也頂きました。尚、仏さまの絵  
は紙面の都合で出来ませんが、遅  
延にのせていただきたいと考えています。  
前記の他、我々は関係のある  
会外の動きなどについても遅時の  
せらつもりであります。広報部に  
対する御意見 御希望をどしき  
出して下さるよう きた記事の提  
供などの御協力をもちあ頼い申上ます。

## 厚 生 部

户 次 戎 夫

御希望の方にもおわからしいと思  
いますので、お望みの方はお申  
出下さい。  
皆様が朝夕に仏院の光を心の糧  
として日々和の心を持つて各自の  
お仕事におけるべき負担を減らす  
として云々と添付の趣意書には述  
べられています。

大森 良夫様	池田 親様
松井 嶽様	山本理平様
土谷 二三様	佐藤 梨子様
恒山 博様	西田扶美生様
城南支部長	田園調布教会様
竹 下 保 夫	支部長会議各長
中央支部長	城西支部長
白 石 明 子	石橋 玲 二
城東支部長	和田 光 同

賀

城東支部長	白 石 明 子
湘南支部長	同
堀 田 は づ	

会長 山 北 厚  
副会長 戸 次 茂 夫  
会計部 柳 星 野 秀 子  
総務部 沢 田 天 英 晴  
更生部 田 状 伍 下 明 之  
教養部 久 子 天 英 晴  
謹 賀 新 年

大森 良夫様	池田 親様
松井 嶽様	山本理平様
土谷 二三様	佐藤 梨子様
恒山 博様	西田扶美生様
城南支部長	田園調布教会様
竹 下 保 夫	支部長会議各長
中央支部長	城西支部長
白 石 明 子	石橋 玲 二
城東支部長	和田 光 同

# 新年に思う

金沢 健

元旦 おトソを飲み 簡素な食  
う。先ず先ずはめでたい。

昨年はわれく CP 患者にとつては色々と嬉しいニュース的人物があつた。オ一に結婚された本会の会長である山北・厚さんのことだ。十二月二十二日の大観さんのお宅でのクリスマス会で仲もつまじいお二人をひさしく拝見した私は我が車のようになんだ。いつ返もいつ送もお幸せにと祈らずにはいられない。オニにはCP患者ながら健康優良児のお坊っちゃんをお生みになり、お育てになり、そしてその手記が全国鐵道労働者会議発行の「リハビリテーションの懸賞」見事一万円の金的を射止められた吉田道子さんのことだつた。吉田さんの姿を初めて拝見したのは六月二十七日光明学校講

て欲しいと思う。  
あの人、この人と私は今思つてます。に昨年人々の口に上つたCPの人々を述べたが今年もまた取年のようにいなそれ以上に立派な社会人としてのCP者が現われて来るようCP者の友からの質状をくりながらこう考えた。今年もまた我々にひとつよい年でありますように。

## 新年会のおしらせ

会員の皆さん明けましておめでとうございます。  
この度レクリエーション部が中心となつて支部合同の新年会を次のように席くことになりましたからどうぞふるつてお出かけ下さい。

セスチユヤー字当てをやつたり、交換プレゼントして楽しい一時を送りました事を石橋君始め一同感謝しております。その様子を

一月十日の午後十時半に教育テレビで出演して頂きました。

しかしお知らせがストの為に遅れましたので出席出来ない方がいました。

記

日時 一月二十二日午後一時

場所 世田谷区会館

会費 一回り 百円

## 城西支部だより

初春を迎えて新たなる希望に胸をふくらませていられる卒業しよう。今年も力を一つにして頑張って行きましょう。

Xマス例会の桃井才一小学校は杉並昇降協会の梅林先生の御好意によつてお借り下さいました。先生が御多忙であられたので代りに大根先生が御出席下さいました。

会長さんの御夫婦と一部の役員

まし

12 お詫びしております。

この支部であみの洋裁

工作などを作成展に出展したい方は連絡して下さい。古侯さんは二十七日より上高井戸におなりになりました。今年のやりたい事や御意見など支部までお寄せ下さい。

出るだけとり入れて行きたいと思つております。

中村 敏

恭賀新年

ミシンのご用は

各種ミシン組立販売

戸次ミシン店

東京新宿ワセダ

丁酉(西暦)四七〇七

十号発刊記念大会の会場でのことだつた。お坊っちゃんを背負つていたつしやるお姿は正に聖母子像そのまゝのお姿だった。けれど私はその時は胸が迫り、挨拶するにとも出来なかつた。初めて言葉を交したのは十一月三日本会の三周年記念大会の時だつた。この時も丸々と太つたお坊っちゃんをお連れになつていらつしやつていた。入送した手記の中ぞ吉田さんはこのお坊っちゃんの将来を思つて、この両親をどう思うだろか。しかし、その時脳性マヒ者も他の人とちつとも変わぬ人間だということを語そよしと云われていらようにして、吉田には必ずしも出来ることは、まだおぐつて止まなかつた。そしてオニには八月、二八六頁にも反応手記「その歩みはおそらくとも」を出しになり一躍週刊誌

その他テレビ結婚の村上さん等多くのCP者が世の話題の中に上つた。これはすばらしいことである。いいことである。地に埋もれた多くの同病者の為にも出来る人はどんどん多方面に活躍すべしである。「虎名」ある人はこう云うかもしれない。が然し我々の吉田個人小柴個人ではない。村上個人小柴個人には現れたCP言葉に立つた人々はより慎重である。全体の虎名、P尺、それだけに又、長に立つた人々はより慎重である。

# 農業未開拓地に今にし

に よ セ て

金 沢 美 鳩

Kの歳末助け合いによる義援金が

本会にも交付された。本当に有難いこと、云わなければならぬ。

年の二十八日その配分式に列席さ

せて、もらつた僕は、多くのその方

の仕事をしている人達の中に混

じて、若い会も社会的に、その

存在を認められるようになつたの

だな、ということとともに多くの

人々の善意によるこのお金の出来

ただけ役立たせて肩かた

ければとしさりに思わせられた。

ところぞ助け合いといふことにつけてだが、かつての伊勢湾台風

の時以葉機はこう思つていた。即ち

助け合いそれが政治の貧困

と。伊勢湾台風、それはまだ記憶にも新しいように未曾有の修復をもたらしたものだつた。そして

それに對して各方面からさしのべられた救援の手もこれ又特筆すべ

きものだつた。人々の心が冷たく

なつていこうとしている今日にあ

つても、なおこれだけの温かい心

を感じさせられたものだつた。だ

が、そうとばかり云つていられは

いものがあるのを僕は思つた。今

資料もないのを伊勢湾台風の場合

政治の貧困といわれる上うな因子

がどういう形でどれだけあつたも

のか具体的には分らないが、一般

に云つて日本の場合その治水対

策は予算が足りないこと、対策が

バラくであること等々政治的な

因子によつて甚だ不十分でしかな

い。そんなことば被害もより一層

寄せらるる人々の悲惨のまゝた

それだけをみて感に入つていいも

のかどうか。云うなれば救援の手

の大きさは逆に政治の貧困を示す

バロメーターであると僕は思つた。

そして歲末、例年のことだけへ

定は例年のことである点に問題があ

るのだが、放送局や新聞社或は

社会福祉協議会等が助け合い運動

を行ふ。それに応えて三百円、五

百円、千円とつゝましくも善意に

みちた庶民のお金が集められてい

く。そしてそれを困つている人

に安い工賃で夜おそくまで内職を

でもやはり困つている人は多い。

脳を失つた炭鉱の人達、ベラボウ

に多い母子家庭のお母さん、そ

して子ども、さりざりのところぞ

保育園を支えていたる保母さんがない

ことちらぢ方で聞いた。そして

みんなが平和の中に豊かな生活

が出来るようになることこそ政治

の何よりのつとめでなければなら

ない。

助け合いを受ける身でこんなこ

とを云うのはおかしいかもしけな

いし又助け合いなどしたくないど

云うのではさらさらないが、でも

僕は云いたい。歳末助け合いなど

しなくともよい政治を、と。

少くとも庶民の助け合いの上にあぐらをかいて手をこまねいてい

るような政治では困るのである。

一般板硝子と

信用ある

吉田硝子店

年間所得二十万円以下の世帯が全体の三割近くもあることを昨年暮年に発表された生活白書は告げている。これに対して国の対策はどうなのかな、三十五年度の厚生白書によると日本の社会保障の国民所得に占める割合は一九五二・五四年度で六・七%、世界で二十一番目にというのだろう。政府は経済の高度成長の過程で低所得層を引き上げていくことが、その高度成長だけが食しい者が困っている看がすべて救われるだろうか。一体どうつて裏して余りとか。一体どうつて裏してそれがどうぞ困つてゐる人達がいる以上お互に助け合うことは必要があり大事なことである。そしていつの世心は失われてはならない。そういう点貧しく困つている人達がいる

## 役員会報告

十二月二十五日(日) 会長室にて

出席九名、諒務部より嬉しい報告

NHK義援金が今年も当会に配当

また某仏教団体から「お札」を贈

いた他茨山の寺附がつた。

会計は会費の一は制度化について、

更生部は洋裁教室を来年から毎日曜日に開くことにほつた由。

教養部は十二月十八日に聖のクリスマス大会を開き今年度の日程は

これで終了したとのこと。

城西支部では同じ十八日にクリスマス会をやつたが、その折日本教

育テレビが取材に来た由へその次送は一月十日午後十時半「あすへ聞く」だった。

尚詳細は各部より参照。

廿九

波

中村 敏一

新春を迎える事が出来まして、皆さんの上に御多幸をお祈り致します。

私は役員として第一歩をふんで行く年を迎えるました。

大会の時に山本先生が「四年目はもづかしい年で、海の中に沈む年であるが何とかして向岸に着かないとなりません」と申しました。その年なので私は何も出来ないながら大責任を感じないとおられません。広報部の一員として適当して頂きます。部長の尾崎君と一緒に仕事に忙しくして行きました。思いだは昨年は支部の役員としていたながら会員宅を訪問致しました。しかし役員室には月に何回となく来て頂いております。私は役員として奥へ一步をふんで行く年を迎えました。

### 理解は求めるより される方向へ

山田 一郎

十二月青い芝紙上で作業所を造るより再教育と訓練の方が大事であると述べたが三周年記念号で前会長金沢英児君、愛の友場会長谷川太郎氏より御意見が出たのでそのお答えのつもりで再びこちらの

たりお伺いしています。今年は出来ただけ講演致して資料を集め�行きたいと思ひます。荒波の中にうめずに発展していく海に皆さんも会長さん始め役員をおたずね下さつて御意見、御不満をお聞かせ下さると共に御協力を深くする為とPR活動に力を入れて行きたいと念願してやみません。また会報によつて一層親しみと御奮闘下さる様にお願い致します。まだ会報によつて一層親しみを深くする為とPR活動に力を入れて行きたいと念願してやみません。

私のものと務めていたある会社の人事課長が「君の外に三四人船酔いの側から現在の大部分の船酔い者を見た時この様にしか映らない」と云つた文面に金沢君は非常に悲しい現実を知つてほしい。私がのど務めていたある会社の人事課長が「君の外に三四人船酔いの人が寝て書を持って熱心に仕事を求めて来た事があるが何一つ人向として出来る事が無い。どうも低脳者としか思えないね……」と云つていた。詳しく聞いたところ、初対面の挨拶も出来ず試験的に小型ボーカル盤をやらせたらと云つて、詳しく述べた事があると云つて、また取り付けをやられれば馬鹿力でネジをしめてしまい便利な物にばかりしてしきつて

の話、たしかに金沢君のお説の通り愛され協調して行ける様そして勤勉、誠実等々人間の内なるものの重要性は云う迄もない、しかししながらそれと同時にある程度のエチケットを失そ何かが出来るといふ事も同時に相入れなければ真の人間向上はあり得ないのではなかろうか。脳性マヒについて日夜研究して居られ御自身も軽い脳性マヒ者である金沢君が若し人を使ふ立場だつた時何にも出来ない脳性マヒ者を愛入れるだろうか、社会に対し理解を求める様とするならば求められる側が先ず少しでも理解し易い方向へ進んで行く事が最も大切な要素と思はれる。やゝもするが良く見知らぬ人からやさしく手を貸してくれたり、時には何かして居られますが、どんな事が出来ますか?「こんな

な事はどうやってみませんか?」などと聞かれたり話しかけられた事も有だろ?又現にざく少數であるが社会の一員として立派な成績を上げている脳性マヒ者も有る。この様にかすかながら社会の一員では理解し始めているし、國に於ても身体障害者福祉法同じく雇用促進法等により未だ不合理も一応の対策がなされているのであるから脳性マヒ者自身それに応じられる態勢に整えて行く事が急務と云えよう。それにアンケートでも判る通り多くは適当な職業にならずさわり就職者を得て正常かつ幸福な家庭生活を望んでいるのだからこれ等脳性マヒ者達が出来るだけ社会に入られる様再教育と訓練が作業所設立より重要な事だ。脳性マヒ者ほど優遇されていて

考えを云はして頂きたい。脳性マヒ者の大部分はその障害の爲人周としてのレベルが著しく低いと云つた文面に金沢君は非常に驚いたらしいと云つて、また会員登録会一日記録の中、「彼女さんが「親でさえ私が彼女を申しやべると度々怒ります。彼女に判つてもらえない」と云つておられるが、これはさつと「彼女が子や、しゃべる時出来るだけ泣きつけてね、そんな変な顔誰だつて

次青で能らう。じめに思ひ出たをやで甚広は出でるが、その多だとふけで悪いことは少からぬこととあらう。社会の運営のなかで、それが脳に悪いと想ひて悪く思はれることは普通であるが、それが元より手がかりに思ひ出でる。そこで手がかりを出て、美る者とつた自身もが努力によく行う。これが最もあ保ろ力に近づく。事ある各種する。これが何處かに位置する。これが最も大切である。

### 編集後記

役員の反対、慎重論を押し切つて毎月発行の計画に突入した。郵送費の問題、印刷費の問題等困難なことばかり、累してこの一年間無事に発行出来たかどうか、その事だけが当分の問題の中では一杯である。印刷屋さんの急病の為本号はかりに贈呈印刷にした。当方の手落ともあり誠に申しわけなく添くおわびした。

なお次号が十五号の原稿は一月未日までに事務所へお送り下さい。

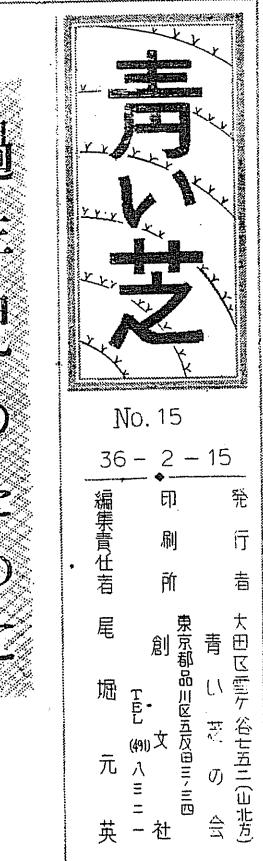
お次号が十五号の原稿は一月未日までに事務所へお送り下さい。

### 尾録

II 記念文告 大田区役所

### 青い芝の会

大田区役所前原田曲良治先生



毎月十五日発行

### 千葉県支部近く発足

千葉県、「青い芝」小字塔を作ったことに伴って、十葉県、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集って来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。十葉県は「江戸市長」として、高遠小糸、「井川三氏」が一足先に本部設置会に来られた。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

十葉県、「青い芝」小字塔を作ったことにより、「松葉会」といふ組織が生み出されたことにより、集つて来たのはとにかく脳性マヒ患者の会、一層のことにはお年寄りの会にしてしまったといつて、これが近づく東京に「青い芝の会」が創られたのである。

(K)

（山北記）